

—母乳について—

宇都宮大 井上 藤

1 母の摂取する栄養が、乳児にとって最良の栄養品である母乳の質、量にどのように影響するかを知ること。授乳婦の栄養所要量を再検討すること、の二点を研究目的とした。

2 ① 出産後満1ヵ月から6ヵ月の離乳開始までの母親を対象とした。② 栄養摂取量は毎月連続5日間、秤量法によって正確に調査した。③ 哺乳量は各月一回宛一日中の毎回の哺乳量を計量した。④ 乳児の発育状態を知るため、体重を測定した。⑤ 各月の母乳を搾乳して成分を調べた。

2 ① 授乳婦が実際に摂取している栄養量は非常に個人差が大きい。例えば授乳第3ヵ月のものでは摂取したCalが2200から3200であった。② 乳児の哺乳量も個人差と日差が大きい。例えば生後3ヵ月の哺乳量は最低480cc 最高990ccであった。③ 哺乳量の多少が必ずしも乳児の体重増加に比例するとは限らない。

母乳の成分については次回に報告の予定である。